



主題

- クラブ(主題)「エッサ! ホイサ! ヨサ!」 高部 雅一 会長
- 国際(主題)「The Power of One」 「一つとなる力」 Kevin Cummings (カナダ)
- アジア(主題)「Dreaming Asia, Loving Asia」 「夢見るアジア、愛するアジア」 Chon Byung-Koo (韓国)
- 西日本区(主題)「Love & Care for All the Living Things」 「すべてのいのちを大切に」
Life, Peace, Environment いのち・平和・環境
鈴木 誠也(神戸ポートクラブ)
- 中西部(主題)「元気はつらつ中西部」 金田 恒(大阪高槻クラブ)

聖句

わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っていますから、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念しなさい。また、教える人は教えに、勤める人は勤めに精を出しなさい。施しをする人は惜しまず施し、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。

ローマの信徒への手紙 第12章6~8節(抄)

F1(野菜)とは何か

奥田 時夫

F1(エフワン・first filial generation)とは、遺伝学において雑種第1代の事をいいます。メンデルの第一法則「優劣の法則」により、異なる形質を持つ親をかけ合わせると、親となる世代から優性(表面上現れる)形質のみを受け継ぎ「美味しい」とか「病虫害に強い」などの特質を発現します。また全部に優性形質が発現するので、均一な性質(いっせいに実がなり、大きさがそろっているなど)を持った野菜になります。しかし、劣性の遺伝子は発現していないだけなので、F1×F1の組合せからとった種子には、1/4の確立で劣性形質が現れます。つまりF1の子供(F2世代)は、品質がバラバラになるという事です。

人間でもそうですが、近い親戚同士などで近親婚をくり返していると、やがて生命力が衰え、体格も貧弱になってきます。これを近交弱勢または自殖弱勢と言います。対して、人種や国籍が異なるなど、遺伝的に遠い組合せで結婚すると、両親より大きく、遅しく、丈夫な子が生まれます。この効果は、両親の遺伝形質が遠く離れていればいるほど、顕著に現れます。これを「雑種強勢」(ヘテロシス)と言います。親世代よりも顕著に強壮な個体が生まれます。これもF2世代以降には失われてしまいます。つまりF1野菜とは、ある系統同士を交配させてつくり上げた品種で、均一な品質を得るために工夫されたもの。また、それ同士からは均一な品質の種子を得る事ができないもの。いわゆる種子は毎年種苗店から購入しなくてはならないのです。F1種がよいのか、固定種(伝統野菜)がよいのかよく考えてみましょう。

3月 例会プログラム

<EF・JWF>

日時: 2010年3月16日(火) 18:30~20:20

会場: 土佐堀YMCA会館902号室

司会: 水口 美里メン

例会担当: ファンド委員会(奥田、生地、小坂井、坂本、水口)

- | | |
|-------------------|------------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | 北村 詔 四副会長 |
| 2. ワイズソング | — 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 司 会 者 |
| 4. 聖句朗読・メッセージ | 北村 詔 四メン |
| 5. 食前感謝 | 北村 詔 四メン |
| 6. 晩餐と歓談 | — 同 |
| 7. 台北セントラルクラブ訪問報告 | 台北 訪問 団 |
| 8. ファンド・オークション | 奥田 時夫 メン |
| 9. YMCA ニュース | 小路 清一 連絡主事 |
| 10. インフォメーション | 水口 美里 書記 |
| 11. 誕生日・結婚記念日 | 北村 詔 四副会長 |
| 12. ニコニコ | 司 会 者 |
| 13. YMCA の歌 | — 同 |
| 14. 閉会宣言・点鐘 | 北村 詔 四副会長 |

3月の強調テーマ EF・JWF 募

Endowment Fund・Japan West Y's Men's Fund
信託基金・西日本ワイズ基金

EF・JWFを通してワイズ活動を考えよう。

奥田 一彦 ファンド事業主任(大阪サウスクラブ)

役員会報告

水口 美里

日時：2月23日(火) 18:30～

場所：奥田事務所

出席者：北村副会長、生地、岡野、奥田、工藤、小森、小路、只野、福永、水口(記録)

報告・確認事項

- 2月例会 [16日(火) 18:30 大阪 YMCA 902号室]
出席者：メン18、メネット5、ビジター1、ゲスト2、計26名、メーキャップ0、出席率78.3%、ニコニコ：8,000円、トスファンド：0円
担当：地域奉仕(道関、岡野、福永、水口、澁谷)
プログラム：TOF例会(おにぎりのみそ汁)
A) 次期役員選挙
B) ゲストスピーカー：COP15に参加されたNGO気候ネットワークの川阪京子さんのお話を聞いた。
- その他の報告
 - 中西部わいわいフォーラム(2/16)に参加
参加者：奥田、工藤、澁谷、小路、只野、永井、西田、水口 計8名
 - 台北セントラルクラブ30周年記念例会訪問団
参加者：岡野団長、今村、生地、奥田、工藤、小森、灰谷、各メンと今村、北村、各メネット、金田中西部長ご夫妻
日程：3月12日(木)～15日(月)
訪問先：台北セントラルクラブ
 - 奈良 傳 賞候補者推薦について
西日本区理事から推薦依頼が来ていましたが、今回は推薦該当者なしとする。
 - 大住畑作業
奥田メンの報告。新年度の地代14,000円支払い済。
 - チャリティボウリング大会参加について
参加者：奥田、工藤、水口、只野(参加費献金)
- 協議事項
 - 3月クラブ例会(3月16日(火)18:30 大阪 YMCA 9F)
担当：ファンド委員(奥田、生地、小坂井、坂本、水口)
プログラム：A) 60周年記念事業ファンド・オークション
B) スピーチ：台北セントラルクラブ訪問団の報告
 - 4月クラブ例会(4月20日(火)18:30 大阪 YMCA 9F)
担当：広報事業委員(福永、岩田、北村、西田)
プログラム：来月協議する。
 - クラブ研修会について
日時：3月20日(土)13:00～18:00
場所：大阪 YMCA 会館
内容：新人メンバー対象オリエンテーション
60周年記念事業企画委員会
 - 大住畑作業予定
奥田メンが説明
 - その他
 - 3月第2例会役員会：3月23日(火)18:30 奥田事務所
 - 4月号ブリテン委員会：3月23日(火)19:30 //

2月

例会報告

岡野 泰和

16日2月クラブ例会が開催されました。2月の強調テーマはTOF・CS・FFです。断食を通して今ある様々な問題について頭で考えるだけでなく、実際に自分たちの体で感じ、そして感じたことを奉仕に活かすための大切な機会です。

北村副会長の開会宣言・点鐘で始まり、全員でワイズソングを歌いました。ゲスト紹介のあと、奥田メンから断食における心構えを説いたマタイ伝の箇所朗読がありました。そのあと「断食」とはいきませんでした、おにぎり二つと工藤メンが用意された味噌汁をいただきながら、普段よりも質素な晩餐を楽しみました。しかし、一見質素に見える食事でしたが、それぞれには素材の味がしっかり楽しめる本当の意味での味わい豊かな食事となりました。続いて臨時総会で次期役員選挙を行い、生地次期会長のキャビネットが決定しました。

さて、いよいよ今回のゲストスピーカーの登場です。NGO気候ネットワークから川阪京子さんがゲストスピーカーとして来てくださいました。テーマは「地球温暖化問題 COP15 報告」です。川阪さんは昨年12月にコペンハーゲンで開催された気候変動枠組条約第15回締約国会議(COP15)に日本からNGOメンバーとして参加され、政府代表の一員として会議にも参加されました。実際に会議に参加された立場からこの会議の意義や問題点など少ない時間のなかでもとて分かりやすく簡潔にお話しくださいました。ニュースメディアからの情報ではなかなか伺えなかった現場の様子が大変よくわかりました。気候変動という人類共通の問題に直面しながらも、それぞれに立場が違う国々が協力して問題解決に取り組む難しさが伝わってきました。問題の共通認識も難しいなか、議論のプロセスさえなかなか折り合えない国際会議ならではの困難があるのでしょうか。会議はなかなか思うような成果が得られず、今後も前途多難のようです。しかし、やはり重要な問題だけに、さらなる粘り強い取り組みが必要であると川阪さんは強調されました。川阪さんにはぜひまたの機会に私たちが出来る具体的な取り組みについてお話しいただける機会があればと思います。

川阪さんのほかにゲストとしてYMCAスタッフの立山さんとなかのしまクラブの國友さんがビジターでお越しになりました。皆さん、ありがとうございました。



IBC & International

<私が巡ったIBC > 今村 一之

セントラル・コースト・クラブ (オーストラリア)

(前承) ニュージーランド南島の北端ブレンハイムからは、連絡船で北島のウエリントンへ。ウエリントンからはバスでニュープリマスへ。以前は、ニュージーランドにも数クラブあり、北島のニュープリマスクラブのクリアウォーターさんが、BFとして大阪を訪問されました。当時の区理事奈良吉太良さん(堺クラブ)が、ニュージーランドの“清水さん”と命名。吉太良さんは、真面目な顔で冗談を連発されるアイデアマンでした。“清水さん”は、奥様ともども私の家をホーム・ビジットされ、塚口のサンサントウンへお連れしたら、“日本は物が溢れている”といわれたのを覚えています。その奥様を亡くされ、一人暮らしでしたが、私たちのため鳥を丸々ローストしてもてなしてくださいました。

翌日、灰谷さんは早朝ジョギングをして大満悦。クリアウォーター氏は、手入れが行き届いた庭を案内してご満悦。それから車で奥様のお墓に花を捧げに行きました。お返しの昼食は、街のレストランで。

“清水さん”は、ワイズ活動以外にも日本の三島市との友好につとめられ、日本政府から勲4等の大きな「勲記」をもらい、宝物として書斎の壁に貼ってありました。

翌日、小さな飛行機でオークランドに到着。オークランドでは、街を少し見て、ケーブルカーで上まで登ってみました。途中、会社帰りに見える紳士が、こちらの席がよく見えると譲ってくれ、町の灯りを楽しみました。山上は住宅街で、商店やレストランも無い。空腹を抱えて下へ降りたら、その辺りのレストランも店仕舞っていて、やっと見つけたチャイニーズレストランで、鍋の底に残ったラーメンのような物にありつけたのでした。

翌朝、再度街をぶらぶらしていると、会社へ急ぐらしい人が“どこか探しているのか”と聞いてくれました。ケーブルカーの紳士、翌朝の紳士、2人の民間外交官に出会い、私のニュージーランドに対する評価は今も100点満点です。

数年前に、“清水さん”からEメールをもらいましたが、その後、怠けていて音信不通。これを機会に、一度メールしてみなければと思います。

<韓国通信 part >

岩田 晋

物品寄贈箱

韓国ワイズメンやメネットが献身的な奉仕活動を行なっていることは、例会で報告した通りですが、ソウルYMCA会館近くのチョンノ2街地下街に「物品寄贈 Box」が設置されていて、「この国は本当に助け合いが盛んなのだなあ」と強く感じさせられます。金属製の寄贈(のための)Boxは、韓国を代表する企業のPOSCOが制作し、寄贈したものです。「POSCOと共に(運営)する美しい店」とネーミングされています。寄贈可能物品は、「衣類・履物・帽子・カバン・書籍・CD・乳児用品・アクセサリ・食器等台所用品・スポーツ用品・レジャー用品・その他の生活用品」と記されており、側面には「分かち合いの魔法」というタイトルで次のように表示されています。「ここに集まった品物はボランティアの手を経て再び販売され、その収益金は私達の社会の恵まれない人のために使われます」

韓国は助け合い運動が大変盛んな国です。メネットの奉仕活動の多様さに深く感銘を受けた直後にこの寄贈箱の存在を知り、深く考えさせられました。日本にもこのような箱があるのでしょうか。



ソウルYMCA会館近くの地下街にある寄贈 Box

台北セントラルクラブ 30 周年記念 表敬訪問団結成!

IBC 台北セントラルクラブがチャーター30周年を迎え3月13、14日と記念行事を開催されます。クラブからも訪問団を結成し、お祝いに駆けつけます。

訪問団メンバー：岡野団長、今村、生地、奥田、工藤、小森、灰谷、各メンと今村、北村、各メネット
スケジュール：3月12日関空出発、13日記念例会、14日IBCナイト、15日帰国予定。
3月例会にて訪問団の報告会を予定しています。

横浜国際大会ニュース

基調講演は環境ジャーナリスト！

横浜国際大会のテーマは「環境」。キーノートスピーカーはそのテーマに相応しく、環境ジャーナリスト・翻訳家として、環境を軸としたマルチな活動を展開されている、枝廣淳子氏です。枝廣さんは、1962年生まれの46才。アル・ゴア米元副大統領の著書「不都合な真実」の訳者としても知られている他、首相の「地球温暖化問題に関する懇談会」のメンバーやスイス国際サステナビリティ・イノベーション評議会評議員などを務められています。ウェブサイト上でも、地球温暖化に関わる

世界の最新情報をお届けする『日刊温暖化新聞』やメールマガジンの発行などで啓発活動を展開しています。日本から世界のワイズメンに向けて発信するメッセージが今から楽しみです。



折りづるランが土佐堀YMC Aを通過

只野 準一

広島での西日本区大会と横浜での国際大会に向けて、神戸ポートクラブの大野メンが東へ西へと折りづるランを続けています。去る2月11日に東向きの折りづるランが土佐堀YMC Aに到着しました。天気はあいにくの雨模様。土佐堀クラブを代表して奥田メンが出迎えました。高槻へ向けて出発の2月21日はうってかわって穏やかないいお天気。灰谷メン、只野をはじめ、たくさんの人たちに見送られ、元気に土佐堀YMC Aを旅立っていきました。



土佐堀YMC A ヘゴール！ (奥田メン撮影)

YMCAニュース

第203回大阪YMCA 早天祈祷会

日時：3月19日(金) 7:30~8:30

会場：大阪YMCA 会館 10F チャペル

指導者感謝会

日時：3月20日(土) 19:00~20:30

会場：大阪YMCA 会館

クリスマス献金のお願い

クリスマス献金の趣旨をご理解いただき、ぜひ多くのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

土佐堀YMCA 運営委員会クリスマス献金委員長 奥田時夫

クラブ会費納入のおお願い 会計 鯉田 勝紀

後期会費を3月末日までに下記口座にご入金ください。

三井住友銀行 西野田支店 普通預金

口座番号 7122778

口座名義 大阪土佐堀ワイズメンズクラブ

3月の予定

16日(火)クラブ例会(18:30~)

土佐堀YMCA

23日(火)第二例会・役員会(18:30~)

奥田事務所

23日(火)プリテン委員会(19:30~)

奥田事務所

4月の予定

20日(火)クラブ例会(18:30~)

土佐堀YMCA

27日(火)第二例会・役員会(18:30~)

奥田事務所

27日(火)プリテン委員会(19:30~)

奥田事務所

3月の誕生日おめでとう

10日 小坂井義文

3月の結婚記念日おめでとう

(該当なし)

<今月の題字写真> 飛行機雲 機体の軌跡に真っ直ぐな二筋の雲が現れた。まるで白銀に残るスキー跡のよう。バンクーバーでの熱戦も幕を閉じ、悲喜交々また4年後を目指した新たな挑戦が始まる。多くの感動を胸に。(Y)

2月例会出席者数

メンバー	18名
メネット	5名
コメット	0名
ビジター	1名
ゲスト	2名
出席者合計	26名

2月例会出席率

会員例会出席者	18名
メーキャップ	0名
合計	18名
現会員数	23名
出席率対象数	23名
出席率	78.3%

B

切手	0pt
現金	0pt
2月合計	0pt
今期累計	0pt

F

ニコニコ

2月分	8,000円
今期累計	70,000円

TOS ファンド

2月分	0円
今期累計	16,160円
トスファンド残高	
合計	1,311,060円
60周年ファンド	
合計	60,000円